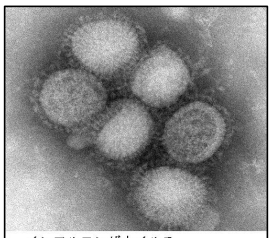
山口県感染症発生週報 （第49週：平成23年12月5日～12月11日）

1 全数把握感染症

【2類感染症】
◆**結核**：第48週追加：1例（岩国）。第49週：3例（岩国、周南、防府）。
【5類感染症】
◆**劇症型溶血性レンサ球菌感染症**：第49週：1例（山口）。


インフルエンザウイルス
CDC/ C. S. Goldsmith and A. Balish

2 定点把握感染症（5類感染症）

(1)特記事項

◆**インフルエンザ**：患者報告数は先週の2倍以上に増加しています。山口、周南、岩国、防府、宇部から報告があり、特に山口、周南からの報告が目立ちます。迅速検査では、A型陽性196例、B型陽性2例、臨床診断3例でした。また、当所の検査では山陽小野田市と岩国市で学級閉鎖をした学校の検体からA/H3（香港型）が3例PCRで検出されています。
◆**RSウイルス感染症**：報告数は増加傾向にあります。今後さらに増加する可能性がありますので動向に注意が必要です。
◆**感染性胃腸炎**：報告数は増加傾向にあります。今後さらに増加する可能性がありますので引き続き注意が必要です。長門、山口、周南では警報レベルが続いています。また、防府、岩国も多い状況です。山口健康福祉センター管内の障害者入所施設で集団発生がありました。【警報レベル＝長門（3週目）、山口（5週目）、周南（8週目）】※
◆**水痘**：長門は急増し今週警報レベルとなりました。流行時期となっていますので今後の動向に注意が必要です。【警報レベル＝長門（新）】※
◆**伝染性紅斑**：柳井と長門からの報告が目立ちます。特に柳井は報告数が多く警報レベルが続いています。【警報レベル＝柳井（2週目）】※
◆**流行性耳下腺炎**：長門は急増し今週警報レベルとなりました。【警報レベル＝長門（新）】※
◆**マイコプラズマ肺炎**：報告数は先週と同数で8例でした。全国的に例年と比較してかなり多い状況ですので引き続き注意が必要です。
◆**無菌性髄膜炎**：下関から1例報告がありました。患者は7歳で原因病原体は不明です。

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2011/keihotyuuiho.php

(2)週別発生状況

疾患名	47週	48週	49週	疾患名	47週	48週	49週
インフルエンザ	48	89	201	百日咳	6	1	0
RSウイルス感染症	60	55	78	ヘルパンギーナ	4	3	4
咽頭結膜熱	1	10	5	流行性耳下腺炎	27	27	37
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	71	103	111	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	462	560	596	流行性角結膜炎	4	6	8
水痘	62	150	129	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	18	14	12	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	14	24	25	マイコプラズマ肺炎	5	8	8
突発性発しん	35	42	35	無菌性髄膜炎	0	0	1

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	15	0	93	7	76	10	0	0	201
RSウイルス感染症	27	6	0	24	5	6	10	0	0	78
咽頭結膜熱	0	0	2	1	1	1	0	0	0	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25	9	7	13	4	35	11	1	6	111
感染性胃腸炎	91	67	18	129	58	84	89	53	7	596
水痘	33	11	1	30	11	17	6	19	1	129
手足口病	1	4	0	4	1	2	0	0	0	12
伝染性紅斑	1	0	11	5	0	4	2	2	0	25
突発性発しん	11	2	1	7	1	4	8	0	1	35
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	2	2	0	0	4
流行性耳下腺炎	14	1	1	3	4	1	0	13	0	37
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	1	0	5	0	0	0	2	0	0	8
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	3	3	0	2	0	0	0	0	0	8
無菌性髄膜炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

山口県感染症情報センター（山口県環境保健センター内）
電話：083-922-7630　FAX：083-922-7632
http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/